

## OWSオーシャンズカップ2024兼OWSカレッジカップ2024 二次要項

公益財団法人日本水泳連盟  
オープンウォータースイミング委員会

## ■申込状況

参加団体数 61団体  
参加選手 延べ総合計126名(男子 70名・女子56名)

10km	男子 19名	女子 14名
7.5km	男子 9名	女子 6名
5km	男子 39名	女子 26名
2.5km	男子 3名	女子 10名

## ■競技について

- ・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

[https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r\\_ows\\_20240401.pdf](https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_ows_20240401.pdf)

## ■スケジュール概要

## ・6月15日(土)

- 13:00 チーム受付・竿検査 開始(北条海岸にて)
- 14:30 公式練習 開始
- 15:15 チーム受付・竿検査 終了
- 15:30 公式練習 終了
- 17:00 監督者会議(オンラインZoom)

## ・6月16日(日)

- 6:15 大会可否判断。6時15分以降に連盟HP「News お知らせ」欄に掲載する。
- 7:30~8:30 10km 選手・給水コーチ 受付
- 7:45 アップ開始(指定エリアのみ)
- 8:45 アップ終了
- 9:10 10km 選手招集
- 9:30 10km 男子スタート
- 9:32 10km 女子スタート
- 給水エリア許可登録コーチ(10km) 栈橋入場開始
- チームAD所有関係者 栈橋入場開始
- 12:00頃 10km 表彰・フォトセッション
- 12:00~13:00 7.5km、5km、2.5km選手 受付
- 12:15 アップ開始(指定エリアのみ)
- 12:40 アップ終了
- 13:15 7.5km、5km、2.5km 選手招集

13:30	7.5 km、5 km、2.5 km 男子スタート
13:32	7.5 km、5 km、2.5 km 女子スタート
	給水エリア許可登録コーチ (7.5 km) 棧橋入場開始
	チームAD所有関係者 棧橋入場開始
15:30頃	7.5 km、5 km、2.5 km 表彰・フォトセッション

■前日チーム受付 前日にチーム受付を済ませること (代理受付可能)

日時：6月15日(土) 13時00分～15時15分

場所：北条海岸 会場内 受付テント

配布物：チームバッグ (ADカード、スタートリスト、確認資料)

選手用バッグ (ADカード、スタートリスト、大会当日提出書類、キャップ※ほか)

※7.5 km、5 km、2.5 km選手のみ主催者指定のキャップを着用すること

■ADカードの写真について

本大会は、写真付きADカードを使用します。※管理者は写真不要

■公式練習

日時：6月15日(土) 14時30分～15時30分 仮ブイによる全コース開放 (予定)

- ・公式練習の前にチーム受付を済ませ、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・公式練習の際は、競技コース全体を開放しコースを一周する時はライフセーバー監視のもと行う。  
(但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては、開放するエリアを限定、制限することがある)
- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。

なお、ラップゲート、フィニッシュエリア、給水エリアは設営中につき、設営状況によっては使用できない場合もある。

■6月15日(土)の給水エリア利用方法

- ・15日(土)の給水エリアに入場制限は設けない。但し、一般人の棧橋への立入りは禁止とする。
- ・給水エリア利用の際は安全に留意すること。
- ・給水エリアで使用する給水竿はOWS競技規則に則ること。
- ・給水で利用した飲み物容器(ペットボトル)等は必ず持ち帰ること。
- ・この日の給水エリアは設営中につき、大会当日の仕上げ仕様とは異なる。
- ・大会当日、5 km、2.5 km競技での給水はできない。
- ・7.5 km競技は付添コーチが給水することができる。

■監督者会議 (Zoom オンライン会議)

日時：6月15日(土) 17時00分 開始 (16時45分より入室可能)

- ・本会議はオンライン会議 (Zoom) にて実施する。参加 URL、ミーティング ID、パスコードは、後日 HP アップ予定の監督者会議資料に掲載する。(6月14日掲載予定)
  - ・監督者会議資料は、各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。(当日配布は行わない)
- ※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予めZoomをインストールしておくこと。

■大会当日 選手・給水コーチ・7.5 km給水希望の付添コーチ 受付

場所：北条海岸 会場内 受付テント

日時：6月16日(日)

7時30分～ 8時30分 10 km 男子・女子・給水コーチ 受付

12時00分～13時00分 7.5km、5km、2.5km 男子・女子及び

7.5km給水希望付添コーチ 受付

方法：①選手受付の際は、本人確認（ADカード発行）、「OWS健康チェックシート」を提出、競技着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）、ウェアラブル端末（事前申請したもののみ）に関するチェックを行う。

\*注意：「OWS健康チェックシート」はHPからダウンロードすること。

②ナンバリングはマジックで行う。

③トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。

ビニールテープを使用する場合は各自で用意すること。

④水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。World Aquatics マークが見えるように提示すること。

⑤手足の爪の手入れをし、装飾品（ジュエリー類）を取り外してから選手受付を行うこと。

⑥ウェットスーツ着用の場合は、白色パステルクレヨンにて番号を記載するので、係員の指示に従うこと。

#### ■入場ゲート

・必ず入場ゲートを通して会場へ入退場すること。

・ADカードに顔写真がない場合は、入場を断る場合がある。（チーム共用ADをのぞく）

#### ■大会当日 ウォームアップ

日時：6月16日（日）

7時45分～ 8時45分（ 8時45分退水） 10km 出場選手のみ

12時15分～12時40分（12時40分退水） 7.5km、5km、2.5km 出場選手のみ

場所：当日指定エリア

#### ■給水コーチ（10km）・付添コーチ（7.5km）の給水エリア入場許可登録及び給水竿検査

日時：6月15日（土）13時00分～15時15分 北条海岸 会場内 受付テント

6月16日（日） 7時30分～ 8時30分 北条海岸 会場内 受付テント（10km）

12時00分～13時00分 北条海岸 会場内 受付テント（7.5km）

・給水竿が不合格となり、再検査を命ずる場合もある為、なるべく大会前日（15日）の竿検査を推奨する。

・給水エリアへの入場許可登録の証として、ADカードへ給水エリア入場許可のシールを貼付する。

・給水竿検査に合格した証として、合格竿には検査済証シールを貼付する。

・給水竿（フィーディングポール）は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。チーム旗は布製で、硬い縁がなく、重りなどが加えられていないものとする。（OWS5.16）

#### ■栈橋および給水エリア入場方法について

・栈橋は、メディア以外、女子レーススタート前には入場できない。

・栈橋の一部を給水エリアとし、給水エリアには給水エリア入場許可シールが貼付されたADカードを保有する登録済み給水コーチ（10km）・付添コーチ（7.5km）のみが入場できる。

・給水エリア入場許可登録コーチは、競技スタート前、栈橋入口にて男女別の選手ナンバー順に列を作って待機する。各列の先頭は、係に呼ばれたら指示に従って入場する。

・給水竿は、今大会の検査済証シールを貼付したものを使用すること。

・給水エリアでコーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。

- ・ 桟橋全域（給水エリアに限らない）での撮影行為は禁止とする。
- ・ 給水エリアから物（食べ物を含む）を投げてはならない。
- ・ 選手は給水竿か手渡しで物を受け取らなければならない。  
（選手と給水コーチ（10km）・付添コーチ（7.5km）は同時に物に触れてはいけない。）
- ・ コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・ 指定エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る（占有する）ことを禁止する。
- ・ 担当選手の給水・コーチングを終えたら一旦後列に下がり、他のコーチと譲り合って利用すること。
- ・ 給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・ 海上に浮遊するコップ等のゴミは、タモ網等により責任を持って回収し、各自で処分する。
- ・ 給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・ 競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・ 給水エリア内では選手への節度ある声掛けは可とするが、大声は厳に慎むこと。
- ・ ホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

#### ■選手招集

- ・ 選手招集の際は、ADカード、前日配布の選手バッグ（選手個人袋）を持参すること。
- ・ トランスポンダーを両腕に装着してくること。
- ・ 審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ ビーチ入口「選手ADボックス」にADカードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- ・ サンドルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていき、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・ サンドルやセーム等全ての個人手荷物を選手個人袋に入れる。
- ・ 選手個人袋はフィニッシュ後に招集テントにて回収する。
- ・ 選手個人袋に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返さない。

#### ■スタート

- ・ スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・ 選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手（片手）でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・ 審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグの振り下ろし）によりスタートする。

#### ■ラップゲート

- ・ 桟橋付近にラップゲートを設置する。
- ・ 選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

#### ■フィニッシュおよび途中退水

- ・ フィニッシュゲートのタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。（確実にタッチすること。）
  - ・ タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
  - ・ フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
  - ・ レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
  - ・ 競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。
- また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

## ■表彰

オーシャンズカップ	2. 5 km、5 km、7. 5 km、10 km
カレッジカップ	2. 5 km、5 km、7. 5 km、10 km
高校生の部	2. 5 km、5 km、7. 5 km、10 km
中学生の部	2. 5 km、5 km

- ・男女それぞれ1位～8位入賞者に表彰状を授与する。
- ・オーシャンズカップについては表彰式を行い、1位～3位は表彰状授与及びフォトセッションを行う。
- ・カレッジカップ、高校生の部、中学生の部については、1位～3位のフォトセッションを行う。
- ・4位～8位入賞者は表彰式・フォトセッション終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る（ADカードを持参すること）。

## ■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝6時15分に決定し、（公財）日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWS お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

## ■その他

### （1）OWS競技の水着

- ・（公財）日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

[https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r\\_k16\\_20230326.pdf](https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20230326.pdf)

### （2）安全について

- ・（公財）日本水泳連盟「OWS競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。  
[https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g\\_03.pdf](https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf)
- ・（公財）日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

- （3）本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、結果掲示後30分以内に大会本部の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料50,000円とともに審判長に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

- （4）本大会は、JADAによるドーピング検査対象となる。

- （5）本大会中は、館山旅館の屋外シャワー（温水）を利用する事ができる。

- （6）マッサージエリアは会場内の指定した場所で利用できる。

- （7）ウェットスーツ着用規定は「OWS競技規則」の第7条2項・3項の通りとする。

- ・2023年1月1日以降、水温18℃未満の場合は、ウェットスーツの使用を義務付ける。水温18℃以上の場合は、ウェットスーツの着用は認められない。(OWS7.2)
- ・ウェットスーツ(男女とも)は、胴体、背中、肩、膝を完全に覆うものでなければならない。首、手首、足首を越えてはならない。(OWS7.3)
- ・水温の参考値として、大会一週間前からの現地測定水温を、随時(公財)日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

以上

#### 連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。